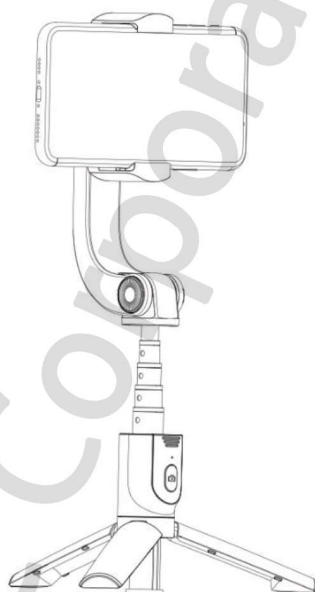


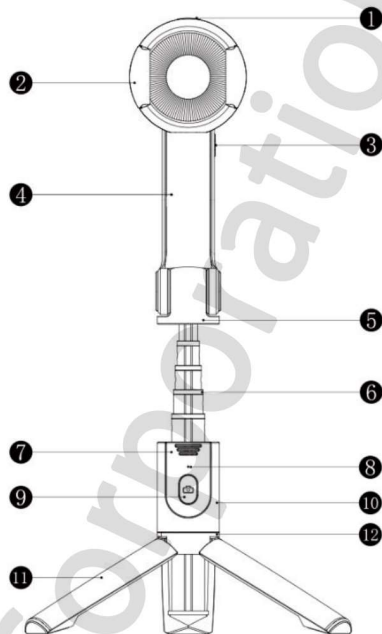
# 取扱説明書

## 1軸スタビライザー

Model: S1



### 各部名称



- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| ① ジンバル機能スイッチ | ⑦ Bluetoothリモコン |
| ② クランプアーム    | ⑧ LEDインジケータ     |
| ③ ロックキー      | ⑨ シャッターボタン      |
| ④ アーム        | ⑩ スリープ          |
| ⑤ コネクタ       | ⑪ 三脚            |
| ⑥ 伸縮ロッド      | ⑫ フレーム          |

### 製品仕様

商品名	1軸スタビライザー		
製品型番	S1	Bluetooth有効範囲	10m
製品サイズ	58.5x71x169mm(収納時)	バッテリー容量	600mAh(PTZ),60mAh(BT)
入力	DC5V/50mA	最大長	620mm
最大耐荷重	5kg	対応OS	Android/iOS
素材	アルミ+ABS	製品重量	230g
Enterprise Standard	QSSX 001-2019	カメラモード	横向き/縦向き対応
同梱物	1軸スタビライザーx1、取扱説明書x1、充電ケーブルx1		

### 使用方法

#### ① Bluetoothリモコンの使用方法

##### Bluetooth接続方法：

シャッターボタンを3秒以上長押しします。するとLEDインジケータが点滅します。スマートフォンがサーチに成功すると"S1"と表示されるので、タップすると接続完了です。接続に成功するとLEDインジケータは消灯します。

##### 撮影方法：

Bluetooth接続が完了したあとは、リモコンのシャッターボタンを押すと撮影できます。

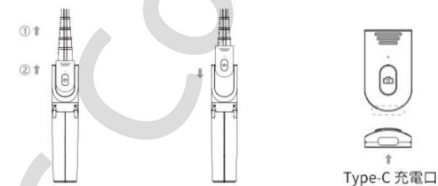
##### 電源オフ：

シャッターボタンを3秒以上長押しすると、LEDインジケータが3回点滅して電源オフになります。Bluetoothに接続されていない状態、または接続後何もしない状態で90秒経過するとスリープ状態になります。

LEDインジケータ  
シャッターボタン



#### ② Bluetoothリモコンの収納および充電方法



##### リモコンの取出方法：

最初に伸縮ロッドを伸ばします。その後、リモコンを上方向にスライドさせて取り出します。

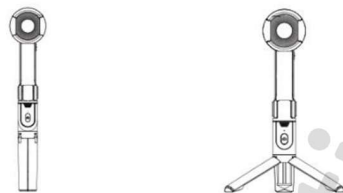
##### リモコンの収納方法：

伸縮ロッドを収める前にリモコンをスロットに収納して下さい。

##### リモコンの充電方法：

Type-Cケーブルをリモコンの底にある充電口に差込みます。充電中はインジケータが赤に点灯します。充電が完了すると青に変わるまたは消灯します。

### ③ 三脚の使用法



片手で自撮り棒の上端を持ち、もう一方の手で自撮り棒の下部にある溝からゆっくりと三脚部分を展開してください。

### ④ 手ブレ防止機能の使用法



**セッティング:** カメラレンズがスイッチ側になるようにスマートフォンをセットします。

**起動:** 手ブレ防止スイッチを3秒以上長押しすると、インジケータが点滅し、手ブレ防止モードに入ります。

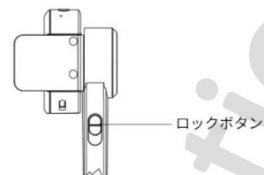
**スイッチ:** 手ブレ防止スイッチを1回クリックすると、反時計回りに90°回転します。スイッチをダブルクリックすると時計回りに90°回転します。

**充電:** ジンバル機構の電源が切れた場合は、ジンバル機構の充電口にケーブルを接続して充電して下さい。



**メモ:** 手ブレ防止機能を効果的に使うために、クランプアームの向きと伸縮ロッド、スレープの位置が揃うようにして下さい。ジンバル機能による安定した撮影になります。

### ⑤ 自撮り棒モードでの使用法



ジンバル機構の電源が切れたり、手ブレ防止機能をオフにしている時は、スマホの向きを調整した後、ロックすることで自撮り棒モードとして使えます。ロックボタンを上スライドさせてロックし、伸縮ロッドを適度に伸ばして下さい。

### セット内容

- ・1軸スタビライザー 1台
- ・充電ケーブル Type-C 1本
- ・取扱説明書

### ▲ 使用上のご注意

- ・高い場所や平らでない場所に本製品を置かないでください。
- ・本製品を分解したり、改造したりしないでください。
- ・本製品に衝撃を与えたり、投げたりしないでください。
- ・本製品を湿気の多い場所に置かないでください。
- ・いかなる場合でも水をかけないでください。
- ・この製品を火の中に投げ込まないでください。火元に近づけないでください。
- ・直射日光の当たる場所や車内など、高温となる場所に放置しないでください。